

事業所名

療育サポートセンター クレア（児童発達/放課後等デイ）

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念「じぶんっていいな」をそだてよう ・仲間への約束～思いをつなぎ 心をあわせて 喜びあい 喜びあいます ・子どもたちへの約束～ありのままによりそい めばえを見つけ 一人（あなた）の成長を喜びあいます ・保護者様への約束～ありのままをわかちあい 子どもたちのしあわせを実現します 				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人のニーズをアセスメントから導き、スタートセッション（最初のアセスメント）にて特性、できているところ、芽生えているところ、不合格を掴み、個別支援計画をチームで立案する。 ・発達障害の特性に合わせた構造化された指導や支援をベースに、ご本人が見てわかる形で環境設定を行い、自立へ導く。 ・保護者、関係機関と情報共有しながら協働する。子育てを前向きに伴走できるように、保護者の心理的な変化等にも柔軟に対応する。 				
営業時間	9時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立のアセスメントを行い、トイレ・食事・着替え・園や事業所での荷だしや準備等を把握し、課題がある部分は手だて（手順書等）を活用し自立へ導く。 ・睡眠等の生活リズムや生活習慣は、ご家庭との情報交換を密にし、必要に応じて情報提供を行いながらスモールステップで関わっていく。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、身体の使い方、姿勢、身体のイメージをご本人がどれくらい持っているか等をアセスメントしながら、事業所や家庭で取り組める運動面の提案を行う。 ・感覚の特異性のアセスメントを継続しながら、苦手な感覚は配慮し、得意な感覚はカムダウン（休憩等）に活用していく。またその情報を関係機関とも共通認識する。 ・手先の微細運動のアセスメントを継続しながら、自立課題や生活場面で視覚的指示を活用して自立へ導く。家庭や園、学校等での般化もイメージしてかかわる。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の認知面でのとらえ方や考え方の特性を踏まえたうえで、基礎的な概念学習からスモールステップを積み重ね、指導・支援していく。 ・ご本人の発達障害の特性を把握したうえで、スケジュールやワークシステム等の視覚的指示を活用し、自立的に活動できる環境設定を行い、成長に合わせて再構造化を実施する。 ・課題となる行動は、特性・環境状況・本人の気づきの相互作用を考え、氷山モデルシートやABC分析シートで課題分析を行い、根拠に基づき指導・支援していく。 ・発達年齢に応じた、第三者への報告の練習や自己認知支援をスモールステップで積み重ねていく。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・他者とコミュニケーションしたい、他者へ伝えたいという内発的動機付けを大事に、支援・指導していく。 ・PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）等を活用し、ご本人の表出コミュニケーションの特性に合わせて指導・支援していく。 ・言語表出だけでなく、ご本人の意思決定支援を些細な場面から設定していく。（おやつ、活動、お楽しみ企画等） 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が安心できる環境設定の中で、他者とも安心安全にかかわることができる経験を積み重ねながら、おとなや子どもとの関係性を形成していける基礎力を高める。 ・社会性の段階のアセスメントを継続し、ご本人の発達段階に合わせながら学びやすい環境設定や、他児に気づきやすい環境を設定していく。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てに向き合えるように、ご本人の特性等を情報共有する。 ・定期的な面談や連絡帳でのやりとりを通して、子育ての不安や悩みを持续させることなく、適切なタイミングで共に考え伴走する。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園、学校等の移行や生活場面での移行を意識しながら、保護者や関係機関と協働する。ご本人が安心してスタートできるよう、変化や見通しの予告等も共通認識しながら特性や手だて等情報共有していく。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や園、学校と日ごろから情報共有に努めながら、課題となる行動が定着する前に迅速に支援会議等を通して、一貫した支援・指導を共有する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の療育コンサルテーションや自主研修の実施。 ・先輩スタッフによるOJTや研修、1対1のスーパービジョンの実施。 ・外部の専門研修等の受講。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの意見や希望を聞きながら、夏祭り、クリスマス会、お別れ会等開催していく。 ・行事の際もひとり一人の特性や気づきに合わせ、必要な手だて等を活用し、安心できる環境の中で「楽しかった」「できた」を感じられるよう成功体験へと導く。 				